

## 平成 30 年度 事業計画

日本リウマチ友の会は、1960 年発足以来“リウマチに関する啓発・リウマチ対策の確立と推進に関する事業を行い、リウマチ性疾患を有する者の福祉の向上に寄与する”ことを目的として事業を実施してきました。この事業の成果としてリウマチ治療の進展・各種制度等リウマチ患者の療養環境の改善に成果をあげてきました。

平成 24 年 4 月 1 日より公益社団法人に移行して 7 年目を迎え、今日までの成果を踏まえて更に公益性の高い事業の実施を目指していきます。

平成 30 年度の主な事業は以下の通りです。

### I. 目標

1. 社会へのリウマチの啓発
2. リウマチの原因解明と治療法の確立
3. 医療・社会福祉制度の拡充
4. 患者が必要とする抗リウマチ薬に対する助成措置
5. リウマチの地域医療における病診連携
6. 災害時リウマチ患者支援の推進
7. リウマチのリハビリテーションの場の確保

### II. 各事業の活動

#### 1. 総務

- (1) 第 58 回全国大会（6 月 10 日（日）鳥取）
- (2) 公益社団法人日本リウマチ友の会第 7 回総会（6 月 10 日鳥取）支部総会（全支部）
- (3) 公開講演会 全国大会他（102 回）
- (4) 理事会（5 回）理事事業委員会（60 回）支部委員会開催（376 回）
- (5) 役員選考委員会 委員選任（理事 3 名、支部長 4 名）
- (6) 支部運営説明会（6 月 9 日）・支部長会（10 月 2・3 日）

- (7) 新支部長研修（7 月）
- (8) 支部との連絡（「友の会だより」の発行等による）
- (9) 支部運営に関する相談支援他（休会支部等）
- (10) 新入会員に「定款」「リウマチ手帳」『2015 年リウマチ白書』他配布
- (11) 会員との連絡
- (12) ホームページ運用
- (13) 関係団体との協働
  - ・日本リウマチ学会（JCR2018 4 月 26～28 日 市民公開講座 29 日）
  - ・日本リウマチ財団 リウマチ月間リウマチ講演会（6 月 3 日）評議員会他
  - ・日本障害者協議会
  - ・障害者団体連絡協議会
  - ・患者の声協議会（「医療基本法制度」に向けて他）
  - ・共用品推進機構 評議員会他
  - ・在宅ケアもの・こと・思い研究所 理事会他
  - ・障害者の差別の禁止・解消を推進する全国ネットワーク 理事会他
  - ・がん政策サミット 理事会他
  - ・全国難病センター研究会
  - ・全国患者・家族集会（難病フォーラム）
  - ・地域難病団体等加盟（29 支部）
  - ・その他
- (14) 協和監査法人 高山昌茂公認会計士と公益法人会計について相談
- (15) その他

#### 2. 出版事業

- (1) 『流』の発行
  - 337 号 患者の声に答える 第 58 回全国大会のお知らせ
  - 338 号 リウマチ手帳
  - 339 号 第 7 回総会議案書
  - 340 号 第 58 回全国大会報告
    - ふろく 第 7 回総会次第
  - 341 号 患者の声に答える

342号 患者の声に答える 第59回全国大会のお知らせ 他

- (2) 支部報の発行 (104回)
- (3) その他

### 3. 社会活動事業

- (1) 内閣府・厚生労働省等への働きかけ
  - ・大会決議「リウマチ患者の願い」提出
  - ・医療費の負担減
  - ・医療連携の推進
  - ・リハビリテーションの充実
  - ・介護保険制度の充実
  - ・障害者総合支援法の充実
  - ・医療基本法制定
  - ・その他
- (2) 支部を中心とする地方自治体等への働きかけ
  - ・都道府県・政令市等への要望書提出 (56回)
  - ・大学病院を含む中核病院にリウマチ科の設置及び専門医の派遣要望
  - ・ヘルパー研修、ケアマネージャー研修、看護・福祉・教育の場で「リウマチ患者」の立場で講演 (12回))
  - ・『2015年リウマチ白書』を基に患者の実態理解を医療・保健福祉の場へ働きかける (全国都道府県・政令市等へ 全支部)
  - ・地域保健福祉計画への参加 (4支部)
  - ・その他
- (3) 啓発活動
  - ・ホームページの運用
  - ・資料配布
    - リウマチグリーンバッジ・ポスター・チラシ・入会案内
  - ・『2015年リウマチ白書』等配布 (全国主要図書館、関係機関等)
  - ・平成30年度発行『流』等配布 (関係機関等)
  - ・写真展パネル「自立と社会参加を目指して」展示 (44回)
  - ・『2015年リウマチ白書』パワーポイント活用

- ・日本リウマチ学会・日本リウマチ財団・関係機関等との協働
- ・マスコミなどによるリウマチの啓発
- ・その他

- (4) 国際交流の推進
- (5) 後援名義の使用承認
- (6) その他

### 4. 自助具・図書事業

- (1) 日常生活のためのユニバーサルデザイン用品の紹介
- (2) 『流』自助具やアイデア－自立のために－シリーズ掲載
- (3) 自助具等の研究・開発への協力 (5件)
- (4) 「展示用自助具」の展示 (50回)
- (5) 既刊『流』『リウマチ手帳』等の頒布
- (6) 「リウマチ体操」DVD 配布
- (7) その他

### 5. 相談事業

- (1) 療養医療講演会・相談会の実施  
公開講演会 (101回)
- (2) 医療相談事業の実施  
専門医による電話医療相談 (12回)
- (3) 電話等による療養生活相談 (7,500件)
- (4) その他

### 6. 支部活動助成事業

- (1) 支部運営費 (43支部)・支部活動費助成 (39支部)・支部周年支部助成 (12支部)
- (2) 公開療養医療講演会・相談会講師謝金助成、講演会会場費助成  
写真展・自助具展資料物品送料助成  
療養医療講演会・相談会 (全国101回)・写真展 (44回)・自助具展 (50回)

- (3) 支部運営説明会の支部代表参加助成（6月9日 鳥取）・新支部長研修参加助成（7月）・支部長会参加助成（10月2・3日）
- (4) 支部活動支援
  - ・「友の会だより」の発行（12回）・「支部活動の手引き」作成等
  - ・本部ホームページへの支部公開講演会等の掲載
- (5) 『流』他資料・寄贈品の配布
- (6) その他

### Ⅲ. 創立 60 周年記念事業

- (1) 実態調査委員会設置
- (2) 予備調査実施
- (3) 60年のあゆみ
- (4) その他